



新たな知の
地平を拓く

京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University



21世紀の日本を考える (第7回)

京都からの提言

京都大学附置研究所・センターシンポジウム

「明るい社会の未来像」

○プログラム

10:00~10:15

[開会の辞]

松本 紘 (京都大学総長)

10:15~10:40

[歓迎挨拶・講演]

福田 秀樹 (神戸大学学長)

「バイオリファイナーの展望」

10:40~11:25

瀬原 淳子 (再生医科学研究所教授)

「生命誕生の設計図~再生の仕組みを解く鍵」

11:25~12:10

中島 浩 (学術情報メディアセンター教授)

「スーパーコンピュータが拓く未来」

12:10~13:30 昼食休憩

13:30~14:15

北川 進 (物質-細胞統合システム拠点教授)

「夢を現実にするナノ空間材料」

14:15~15:00

竹沢 泰子 (人文科学研究所教授)

「日本人移民の歴史と
多文化共生社会の明日」

15:00~15:15 休憩

15:15~16:55

[パネル・ディスカッション]

「震災後の復興について」

浜口 伸明 (神戸大学経済経営研究所教授)

芹澤 成弘 (大阪大学社会経済研究所教授)

矢野 誠 (京都大学経済研究所教授)

コーディネーター

三野 和雄 (京都大学経済研究所教授)

16:55~17:00

[閉会の辞]

日時

2012年3月17日(土)

10:00~17:00

場所

神戸国際会議場メインホール

(神戸市中央区港島中町6-9-1)

○ 交通アクセス: JR・阪神・阪急 三宮駅からポートライナー
約10分「市民広場駅」、下車徒歩約2分

● 主催: 京都大学附置研究所・センター

● 後援: 読売新聞社、(公財)京都大学教育研究振興財団
神戸大学

○ 先着700名(入場無料) 応募申込みは先着順となります。

(なお、当日の入場は、定員に達し次第、締切させていただくこととなりますので、
予めご了承ください)

お問い合わせ先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経済研究所総務掛
e-mail:soumu@kier.kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-753-7102 FAX: 075-753-7193

* 参加者の情報は、適切に保護し、本シンポジウムの開催・受付の目的以外には
利用いたしません。

* やむを得ない事情によりプログラムが変更になる場合があります。

参加お申込み方法は裏面へ

<http://www.kuic2012.jp>

講演者紹介

「バイオリファイナリーの展望」

地球温暖化抑制の一つの手段として、バイオマス資源を利用したバイオ燃料などのエネルギー生産や汎用化成品、高分子素材、食品など多種多様な有用物質の生産技術の開発が必要とされている。このような技術コンセプトは、バイオリファイナリーと呼ばれ、温暖化の要因である炭酸ガスの増加を抑制することができるので最近注目されている。

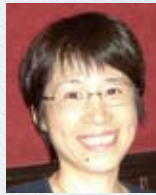
ここでは、バイオリファイナリーの展望について概説したい。



福田 秀樹
神戸大学学長

「生命誕生の設計図～再生の仕組みを解く鍵」

私たちのからだは、一個の受精卵からDNAという設計図に基づいて作られています。それが一人一人少しずつ違うから個性が生まれるし、種によって違うから、空を舞う鳥たちや地を這うヘビたちが生まれるのです。それらの設計図は、生命の「見た目」だけでなく、その生き残りをかけて、進化と言う長い歴史の中で描き続けられています。生命誕生の設計図に潜む、教えきれない巧妙な仕掛けを解き明かすのが、発生生物学。その魅力をお話します。



瀬原 淳子
再生医科学研究所 教授

「スーパーコンピュータが拓く未来」

神戸が誇る世界最速スーパーコンピュータ（スパコン）「京」を筆頭に、パソコンの数万倍・数十万倍の計算性能を持つスパコンが、さまざまな分野で活躍しています。この講演ではまず、スパコンがなぜスーパーであるのかをお話し、パソコンやゲーム機と似ている点や違う点を知っていただきます。その後、スパコンを使った研究開発が明るい未来を拓くためにどのように役立つかを、スパコン技術の将来展望とともにお話します。



中島 浩
学術情報メディアセンター 教授

「夢を現実にするナノ空間材料」

レゴのようなブロックゲームが分子、イオンのナノの世界で行えることがわかってきました。これによりナノ空間を持つ構造体が生み出され、これを用いてこれまで不可能とされてきた混合物や気体の分離、捕獲、気体大量貯蔵、光応答性材料やポリマー合成などの多様な機能を実現することができました。この最新の成果と将来展望について、現代の問題（地球環境、エネルギー、医療、健康）に焦点をあてて講演します。



北川 進
物質—細胞統合システム拠点 教授

「日本人移民の歴史と
多文化共生社会の明日」

神戸は、開港以来、様々な外国人を受け入れるとともに、数多くの日本人移民を送出した街でもある。アメリカ合衆国に渡った日本人移民の場合、第二次大戦中の強制収容をはじめ、過酷な体験をしてきた。かつて日本人が海外に移住し、新天地でマイノリティとして生きた経験はいかなるものであったのか。海外からの移住者、ミックス・ルーツの子供たちが急増するなかで、多文化共生社会の成熟が大きな課題となっている日本。未来のあり方を神戸で考えてみたい。



竹沢 泰子
人文科学研究所 教授

京都大学 附置研究所・センター

- 化学研究所
- 経済研究所
- 地域研究統合情報センター
- 人文科学研究所
- 数理解析研究所
- 学術情報メディアセンター
- 再生医科学研究所
- 原子炉実験所
- フィールド科学教育研究センター
- エネルギー理工学研究所
- 豊種類研究所
- こころの未来研究センター
- 生存圏研究所
- 東南アジア研究所
- 野生動物研究センター
- 防災研究所
- iPS細胞研究所
- 物質—細胞統合システム拠点
- 基礎物理学研究所
- 放射線生物研究センター
- ウイルス研究所
- 生態学研究センター



京都大学附置研究所・センターシンポジウム
京都からの提言
21世紀の日本を考える (第7回)

パネルディスカッション

「震災後の復興について」

自然災害は社会資本を一新させ、かえって比較的短期間に経済成長を促すこともあるといわれます。東北地方の復興の兆しは、そのあらわれと見ることもできますが、日本経済全体を見ると、今でも大きな打撃をひきずり続けています。原発事故の処理に数十年がかかることを考えると、震災復興の道は、短期的視点だけでなく、非常に長期的な視点にたって考えなくてはなりません。今回のパネルディスカッションでは、東北沿岸地域の復興、電力の安定供給、非常時に強い社会の構築といった問題に焦点をあて、短期・長期の両方の視点から日本経済の復興の道筋を考えます。



浜口 伸明
神戸大学経済経営研究所 教授



芹澤 成弘
大阪大学社会経済研究所 教授



矢野 誠
京都大学経済研究所 教授



コーディネーター
三野 和雄
京都大学経済研究所 教授

お申し込み方法

◎ウェブでの申込み

- ・参加申し込みフォームからお申込ください。
- ・ホームページアドレス <http://www.kuic2012.jp>

◎FAXでの申込み

- ・冒頭に「京都大学シンポジウム参加申込」と明記し、①氏名(ふりがな)、②所属、③職名(研究者のみ)、④連絡先のFAX番号および電話番号、受付通知をメールにて希望される方はメールアドレス、⑤年齢、をご記入の上、事務局FAX番号(075-753-7193)宛にご送付ください。受付後、こちらから確認のFAXをお送りします。

◎往復はがきでの申込み

- ①氏名(ふりがな)、②住所、③所属、④職名(研究者のみ)、⑤連絡先の電話番号、⑥年齢、をご記入のうえ、下記あてにご送付ください。
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経済研究所 総務掛